

常に勉強 現場主義

古河市議会議員

いずみ

さとう泉

平成 27 年春号

さとう 泉

議会報告

日頃は暖かいご支援を賜り心から感謝申し上げます。
皆様のおかげで、29歳の時（平成15年4月）に初当選させていただいてから、12年（3期）が経とうとしております。

これまでにどんな結果が残せたのかご報告させていただきます。
これからも古河市発展のため、ご指導ご協力を宜しくお願いいたします。



**弱者優先の
政治を！**

プロフィール

- ・昭和48年8月20日生まれ
 - ・古河第三小学校、古河第三中学校
総和高等学校、東京科学電子工業専門学校
白鷗大学法学部法律学科卒業
 - ・大学卒業後、研究生として福岡政行研究室で政治学を学ぶ
 - ・研究生修了後も政治評論家、福岡政行先生に師事
現在も勉強中
 - ・平成15年4月より古河市議会議員
29才の時に初当選 現在3期目
 - ・文教常任委員長、厚生常任委員長 文教厚生常任委員長歴任
- 【現在】**
- ・第3地区（旭、下一、下二、下三、住吉町）相談役
 - ・下三自治会 相談役
 - ・コミュニティー団体サンゴの会 相談役
 - ・茨城県マリッジサポーター、古河婚活支援会 会長
 - ・株式会社 東和 取締役

サポーター募集

さとう泉の議会報告書配り等、お手伝いしていただける方
ご連絡をお待ちしております。
よろしく願いたします。

さとう泉 090-1656-8877



福岡政行先生に学ぶ

政治評論家で白鷗大学教授、福岡政行先生
(TV タックル等テレビ番組でおなじみの) に
師事し政治学の勉強を現在も続けております。



さとう泉 事務所

古河市東本町 3-7-10

電話：0280-31-2863 ファクシミリ：0280-32-2267

Eメール：sato_izumi_123@yahoo.co.jp

ブログ：http://blogs.yahoo.co.jp/sato_izumi_123

facebook https://www.facebook.com/izumi.sato.1829



一般質問や要望等で提案が実現しました

結果がでました!!

【一部抜粋】



議場にて質問中

スポーツ・健康

スポーツのまち古河の象徴となるような屋内スポーツ施設建設の提案について

H26年12月4日（H26年第4回定例会一般質問）

質問 古河体育館の昨今の利用状況は、平成23年度が約6万2千人、24年度は約7万5千人、25年度は約6万4千人と、毎年非常に多くの市民が利用している状況です。築40年以上が経過し、老朽化した古河体育館は、早期建て替えが急務です。そこで、既存の古河体育館敷地の約2倍の広さを有する区画整理地内の元文化施設建設予定地駐車場南側を活用した屋内スポーツ施設建設を提案します。スポーツの推進は「心と体の健康づくり」が目的です。健康の拠点となる体育館を充実させることにより、市民の健康が促進されます。「健康づくり」と「生きがい」の2つのメリットを考え、屋内スポーツ施設建設を総合計画に入れていただけないでしょうか。

答弁 (市長)

古河地区、あるいは総和地区の中で最も人口が集中している地域に住む方たちが利用しやすい場所を考えたとき、一つの検討材料として受け止めています。

元文化センター建設予定地の南側であれば、市の管理する保留地なので建設は可能です。保留地処分の上でも、市民の健康づくり、その他の目的でも必要だと思えます。土地の有効利用等も含め、第2次古河市総合計画に盛り込んでいきたいと思えます。



老朽化した古河体育館

結果がでました!!

古河体育館に代わる新施設整備を第二次総合計画にのせていくという答弁を引き出しました!!
既存の古河体育館敷地の約2倍の広さを有する区画整理地内の元文化施設建設予定地駐車場南側に新設予定です。

子育て支援・教育

施政方針に掲げた「若者に選ばれるまちづくり」への実践的取り組みについて 子どもの居場所づくり・親子の交流の場の充実について

H25年6月18日（H25年第2回定例会一般質問）

質問 ネーブル子育て広場「ヤンチャ森」は、月平均800から900組、1年間に2万人以上の親子の方に利用されております。子どもたちが安全に遊べる公園が激減している状況で、遊びを通して生きていくために必要な様々な能力を育める施設の需要は、先ほどの利用者数を見ても明らかであります。

子どもにとって多様な体験をする機会である外遊びの重要性を踏まえ、子どもの居場所、そして親子の交流の場である「ヤンチャ森」を市民にとって身近にある環境となるよう拡充することを提案します。設置場所については、古河地区は古河総合公園、三和地区は三和健康ふれあいスポーツセンターが適当であると考えますが、市長の見解を伺います。

答弁 (市長)

ヤンチャ森は、お母さん方が一人で子育てをするあまり、虐待やその他いろいろな行動を起こすような環境にならないために、他のお母さん方と子育ての相談をしたり、体験談を話したりしながら、

ママ友をつくる場となるようにという思いでつくりました。あるいは子ども同士の学び場としていただけたらという思いもあります。

ヤンチャ森の利用率は非常に高く、これからは身近にこのような場所が必要であると考えます。古河総合公園は景色が良く、いろいろな歴史もあります。そこにヤンチャ森等をつくれればという思いがあるので計画していきます。

また、三和地区も人口が同じ様にあり面積も広く、三和健康ふれあいスポーツセンターも良い場所だと思います。これから検討していきます。



親子の交流の場「ヤンチャ森」

結果がでました !!

平成27年度中に古河総合公園内に『ヤンチャ森』が完成いたします。
三和地区(三和健康ふれあいスポーツセンターにも要望中)

子育てのまち「古河」を目指して(少子化問題について)

H19年12月13日(H19年第4回定例会一般質問)



質問 子供を授かりたいと願う気持ちを少しでも支援し、市でも県事業にプラスした形で何らかの支援体制ができないでしょうか。

答弁 当面は県のこの不妊治療費助成事業の周知を図ってまいりまして、プラスした支援につきましては今後の検討課題というようなことにしたいと思います。

結果がでました !!

平成27年4月より、特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)の治療費の一部助成(上限5万円)をすることになりました。

子育てのまち「古河」を目指して(子育て支援について)

H19年12月13日(H19年第4回定例会一般質問)

質問 専門的知識と経験を有する職員の専門性を生かし、軽度発達障害のあるお子さんへの行政対応の向上に努めていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

答弁 理学療法士、作業療法士等々の採用の件でございますが、現場と十分話し合っ、必要であれば採用する方向で検討していきたいと思っております。

結果がでました !!

平成27年4月から児童発達支援センターを設置することになりました。理学療法士、作業療法士、臨床心理士を採用することになり、臨床心理士が市内のすべての保育所、幼稚園等に出向いて子ども達への支援をしていただけます。

★障がいをもった子どもたちへ、手厚い支援の要望

介助員の増員を毎年強く、要望しております!!

結果がでました !!

平成26年度は介助員8名増員していただきました!!
障がいをもった子どもたちのために。

★3人乗り自転車貸出事業の提案

古河市民元気アップ経済対策の一環として、子育て支援の充実という観点から私の提案で実施されました。(平成21年7月1日道路交通法が改正され、3人乗り自転車が使用できるようになりました。)

3人乗り自転車



朝日新聞 平成21年11月10日

3人乗り自転車レンタル「快走」

古河市が県内で初めて実施した、幼児2人が乗乗出来る3人乗り自転車の貸し出し事業が「快走」した。9月に50台で始めたが、希望する市民は急増。11月からは50台を増やし、市民の好評に答えている。

学童期前の子が2人以上いる市内の保護者を対象に、本市は9月から3人乗り自転車の貸し出しを開始した。スタート当初から評判はよく、10月中旬には全車貸し出し状態。料金は電動式で月800円、ギア式月600円。電動式の定価が15万円、ギア式が8万円と割安なことや、利用期間が1年間に限られることが人気の背景らしい。

来年度に入れば貸し出しは倍増、という予想に反し、申し込みは今も続いている。問い合わせは市民生活課(0280-92-3111)。

古河市、人気に応え25台増車

結果がでました !!

平成21年度から平成26年12月までの利用人数は975人(325台)子育て支援!!

★白鷗大学と古河市がスクールサポート事業の協定を結びました

古河市教委と白鷗大
教育で協力協定締結

古河市教育委員会は28日、栃木県小山市の白鷗大学教育学部との間で、大学生ボランティアが小中学校の授業を補助する事業などを推進する協力協定を結んだ。

同市教委は今年度、近隣の大学生が授業の補助や部活動の支援を行うスクールサポーター事業を始め、現在、12人が小中学校計12校で、算数や特別支援学級の授業などで教師を手助けしている。

協定によると、現在、白鷗大から4人が参加しているスクールサポーターについて、大学が学生たちに積極的に参加するように呼びかける。

一方、古河市教委は、全国から入学している学生らが近くで同市で教育実習ができるように便宜を図る。

市は「白鷗大は、教育を志す意欲の高い大学生が多い。市内の全小中学校32校にそれぞれサポーターを置きたい」と期待している。

読売新聞 平成21年10月29日

結果がでました !!

これまでに152名の大学生が子どもたちの学習支援等で、古河市で活躍しております!!

日赤病院跡地の利用について(上辺見保育所の移転計画をしてはどうでしょうか?)

H20年12月17日(H20年第4回定例会一般質問)

質問 保育所の充実のため現在の上辺見保育所を古河赤十字病院跡地に移転してはどうかと考えますが、いかがでしょうか。通園の安全性の確保、またゼロ歳児から3歳児までの低年齢の幼児の受け入れ拡大、定員超過の解消など保育環境の整備が実現されるでしょう。働く女性たちの子育てを援助する有意義な施策と考えます。現在の上辺見保育所用地はユーセンター総和の駐車場として利用すれば、センター利用者の利便性の向上が図れます。

答弁 (市長) 古河赤十字病院の跡地は4,000坪ございます。そして、今上辺見保育所の敷地は2,358平米ということですから、約700坪ございます。佐藤 泉議員が言われるようなことで、もし古河赤十字病院の跡地へこの保育所を移して、そして今現在の上辺見保育所の跡を今度は駐車場にすれば、1台当たり7坪とっても100台は優に置けるとということですから、十分ユーセンター総和を利用する方も利用しやすくなると思います。



日赤跡地



上辺見保育所

結果がでました !!

古河赤十字病院跡地を「子育て支援の拠点」として位置づけ、平成27年度は、上辺見保育所建て替えの実施設計を行うことになりました。

上辺見保育所を取り壊すことにより、ユーセンター総和の駐車場が100台以上確保できます。

ごみ減量化について(衣類のリサイクルについて)

H23年12月13日(H23年第4回定例会一般質問)

質問 衣類は燃えるごみとして出されており、ごみとして捨てられている衣類を資源として売却し、新たな財源を生み出すと同時に、燃えるごみの減量化と処分費の抑制を図っていくべきだと考えます。そのために、ごみ収集カレンダーの中に、月1回程度の衣類回収日の新設を提案いたします。

答弁 (環境安全部長)

現在衣類については、可燃ごみとして焼却処理を行っていますが、平成25年度から資源ごみとして分別収集を実施し、リサイクルできるような調整をしていきたいです。



結果ができました !!

平成25年4月から実施されました。これまで(平成26年12月)に259トンが回収され、衣類の売却代金が276万円&1トン当たりのごみ処理費が2万2千円ですので569万円の処分費を抑制できました。

合計845万円!!

循環型社会の形成とごみを財源に!!

循環型社会の推進について

H26年3月17日(H26年第1回定例会一般質問)

質問 食べ残しは毎日のようにあります。古河地区の小中学校で1日平均約180キログラム、総和地区で約375キログラム、三和地区で約260キログラム、古河市全体で約815キログラム、年間約160トンもの残滓量があります。

給食に限らず、家庭の残飯も毎日のことです。そういった生ごみをただ捨てるのではなく、資源化する策を講じれば相当量のごみ減量化につながります。給食の残りや家庭から出た生ごみを生ごみ処理機に入れ、堆肥化し、その肥料を花壇に入れ花が咲く。可燃ごみ減量化とともに循環型社会を子どもたちに体験していただきたいと要望したところ、すぐに古河地区の7つの小学校に設置していただきました。その後の進捗状況についてお聞かせください。あわせて総和地区、三和地区の各小学校にも生ごみ処理機コンポスト設置を要望しますが、お考えをお聞かせください。

答弁 (教育部長)

小学生のうちからごみの減量化や循環型社会に対する学習をすることは、環境教育の観点から非常に良い学習効果を上げます。2年ほど前に議員の提案を受け、古河第一小学校から古河第七小学校までの7校に設置しました。使用状況は、工事等の関係で一時中止している学校もあるが、6校で生ごみの堆肥化に取り組んでいます。

答弁 (教育長)

ぜひ予算を検討して、平成26年度中に総和地区、三和地区にも配置できたらなと考えています。

結果ができました !!

全小学校に設置していただきました!!

可燃ごみ減量化とともに循環型社会を子どもたちが体験中!

総和中央小学校でも生ごみを堆肥化中!!



総和中央小学校にて

市民活動の育成について

H20年6月10日（H20年第2回定例会一般質問）

質問 行政との協働を考えたときに、ボランティアの皆さんの交流の場、情報交換の場として、空きスペースである古河庁舎3階に拠点となる場所（市民活動支援センター）をつくってみたいかがでしうかと提案してから1年が過ぎました。設置時期はいつごろになる見通しでしうか。

答弁（部長） 今セキュリティーの問題だとか、あと団体等の把握、そういったものがちょっと課題がございまして、今現在内部で協議中でございます。



結果がでました !!

平成21年8月に各地区（古河庁舎三階、コミュニティセンター総和、三和庁舎第三庁舎）に市民活動支援センターが設置され、平成26年12月までの利用人数は4,000人を超えました。

センターでの利用内容は、「パソコン」や「印刷機」を使って、地域のイベントや会議などの資料づくりができます。また、資料づくり等を打合せする場所として「談話室」や情報の発信として「掲示板」が設置されております。

★古河第三小学校区 サンゴの会主催 盆踊り大会を企画（5回開催）!!

住民自治は『元気な地域コミュニティづくり』が大切です。地元第三地区初の盆踊り大会を企画させていただきました。みんなの協力で大成功でした。子どもからお年寄りまで楽しいひと時を過ごせました。



第5回サンゴの会盆踊り大会の様子（26年8月23日、24日）

まちづくり・観光

古河総合公園の名称について

H26年3月17日（H26年第1回定例会一般質問）

質問 愛称を市民の皆さまから公募してみたいかがでしうか？

答弁（市長） 古河総合公園という名前よりも、もっと親しみやすい名称、愛称ということですが、執行部としてもぜひその提案を取り入れて、市民の皆さんに問えたらと思ひます。



結果がでました !!

合併10周年を記念として愛称を公募することになりました。
私は『古河公方公園』で応募します！

古河市ランドマーク整備構想について

まちなか再生市民広場をより充実させた施設とした古河市観光会館の建設(建替え)について

H25年3月15日(H25年第1回定例会一般質問)

質問 この事業は、まちなか再生市民ひろばを古河駅西口のランドマーク的存在として古河市観光会館を新たに建設するものです。1階フロアには観光情報、特に観光客のニーズに合わせた散策コース、散策スケジュールなど総合案内所を配置し、その上のフロアは児童館機能を有するスペースを設置、コンセプトは人と人との交流ができる空間の創造です。できれば土、日は人力車を駅前から走らせてもおもしろいと思います。現在は一方通行の通路に接しており、南側への道路のつけかえも視野に入れて青写真を描きます。隣接する市有地を含めれば面積が約500坪に拡張できるがいかがでしょうか。

答弁 (市長)

古河駅西口前のまちなか再生市民ひろばは古河市の玄関口でもあるので、駅前の特性を生かして、たとえばランドマーク的な複合ビルに商業施設や子育て支援、観光などいろいろな施設が入るように変えられればと思います。実施計画に入れられれば、今後のまちづくりとして、そして古河市の顔としてつくっていきたいです。



結果がでました!!

古河市の企画課から構想が出されました。観光会館と児童館設置に向けてがんばります。



川戸台遺跡について

H26年3月17日(H26年第1回定例会一般質問)

質問 川戸台遺跡は、東日本でも有数の製鉄・鑄造関連遺跡です。今後、観光資源の大きな目玉の一つとなり得ると思います。ぜひ展示施設も含めた史跡整備を進めてもらいたいのですが、それらを実施していくためには、正規の埋蔵文化財専門職員がいないと国及び県から補助が受けられない状況です。今後早急に、市として正規の専門職員を配置していただきたいです。

答弁 (市長)

埋蔵文化財の専門職員、正規職員ということでありましてけれども、確かにこの職員がいたならば、補助金その他の面で有利な面もありますし、またこの遺跡につきましてもいろいろな面でプラスになろうと思います。これにつきましては前向きに考えてまいります。



川戸台遺跡

結果がでました!!

平成27年度に、川戸台遺跡を古河市指定史跡として、早急に登録していただけることになりました。

古河婚活支援会(会長 佐藤泉)主催のお見合いパーティ(愛直便)を開催

少子化対策の一環として行っているボランティア活動報告をさせていただきま
す。茨城県知事から、マリッジサポーター(結婚相談支援員)として委嘱されてから7
年が経過いたしました。これまでに35回の
お見合いパーティを開催いたしまして、
合計1,293名の方に参加していただきました。
その中からカップルがなんと233組誕生いた
しました。そこから報告があっただけで、
10組が結婚し、6組に第1子が誕生、3組に
2子目が誕生しております。
個人的紹介では23組結婚いたしました。



被災地ボランティア



石巻市にて

ド・マンナカまつりにて
南三陸町産のホタテを販売。
売り上げは被災地へと届けら
れました。(H25,H26)



相馬市磯部小学校にて



南三陸町にて



いろいろな方にご指導いただいております

政策研究会 会長として活動してきました

子育て支援、教育、歴史・
文化のまちづくりなど市民
と共に考え、学び、行動する
市民参画・協働を旗印に新
生・古河市のまちづくりを
推進してきました。



議会報告会



これまでに私が中心となり
会派主催による議会報告会
を11回開催し、約700名の
の方々に参加していただきま
した。多くの市民の皆さまの
声を受け止めてまいりました。

古河市が始まって以来初の2つの条例(議会基本条例、政治倫
理条例)を会派から議員立法で提案いたしました。
現在私たちが提案した条例を基に特別委員会で審議中です。



福岡ゼミにて
福岡政行 先生
田所嘉徳 衆議院議員と



福田 栃木県知事と



橋本 茨城県知事と



北川正恭 早稲田大学大学院教授と



吉原 坂東市長と

